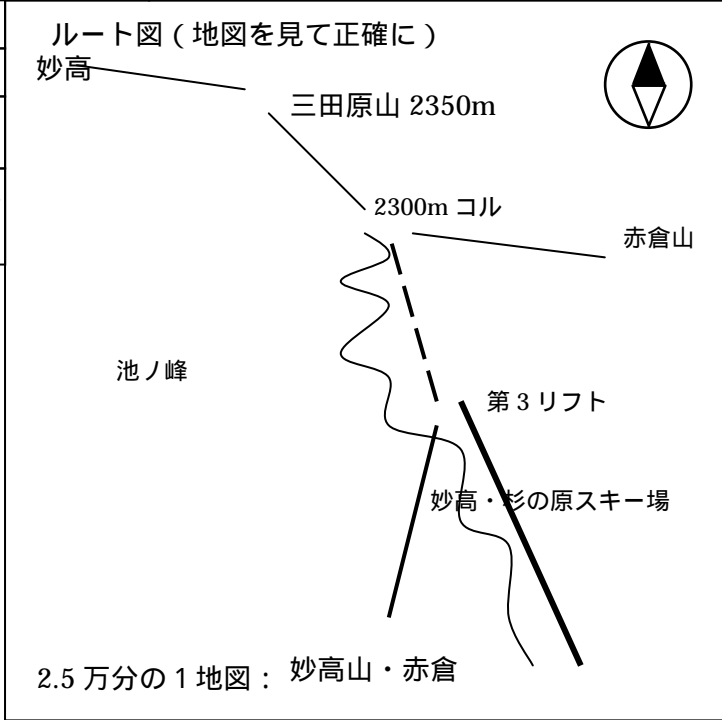


3 月度 <sup>例会</sup> <sub>個人</sub> 山行報告書		報告者	藤田 健治	参加 メンバー	CL: 藤田健治 (9名) 渡辺勝利・育子、浜島弘一、 塚本英吾、岸野照男、佐溝直彦、三矢十三世、石井 満、
山 域	妙高山域	報告日	3 / 17		
山 名	三田原山	山行日	07年 3月10日(土) ~ 11日(日)		
山行目的	追悼スキー山行	コースタイム(天候: 天気図記号)			

配布先  
集会:12  
山行: 1  
リーダー  
原紙: 集会担当者



3/10 快晴  
8:00 森茂荘出発  
8:30 ゴンドラ乗り場  
9:30 献杯  
11:30 2300m コル休憩  
滑走開始~  
13:00 ゴンドラ乗り場着  
14:00~16:00 スキー滑走

3/11 降雪  
10:00 森茂荘出発  
10:30 赤倉温泉  
12:00 赤倉・イモリ池  
帰路に着く

**山行報告**

先発グループの佐溝さん達とは 3/10 0:30 に森茂荘で無事合流する、途中道路状況をメールして頂き快適な深夜ドライブを乗り切る(片道 380km)。岡田 茂さんに挨拶後、まずは再会の乾杯で就寝に入る。目を覚ますと快晴の空模様で心がおどる、今期は残雪が少なく宿泊先からの直接リフトは無理となり車でスキー駐車場に移動する。第 3 リフト上部のいつもの場所で浜島さん合図で 3 人の献杯を済ませる。二手に分かれ、登山グループの渡辺・藤田はシールを利かせ塚本先輩は初スノーシューで登り出す。スキー登山パーティが続く中、ゆっくりと 2 時間登った 2300m のコルで合流する。三田原山頂上は目と鼻の先であるがスキーグループとの集合約束時間となり写真を一枚とり下りだす。昨年の池ノ峰コースとはルートを替え、上りコースを 2 人で快適に下りゴンドラ乗車口に到着する。塚本さんとは後で第 2 リフトの降り口で合流したが、スノーシューでの降りは使い物に成らず大汗をかかれたようだ。

前夜から大雨よ強風で目を覚ますと降雪状態の天候である、予定では赤倉スキー場で半日滑走のところを「赤倉温泉入湯」に急遽変更してホテルの名湯にのんびりつかり帰路の人となった。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に  
赤倉温泉入湯後、佐溝さんの御案内で「妙高自然保護センター・イモリ池」に立ち寄りしばし周辺の歴史と自然の成り立ちにふれた。

確認  
(リーダー)  
藤田  
07/03/17  
作成  
(報告者)  
藤田  
07/03/17

**リーダー所見**  
伊藤安雄君の名目で丹羽さん菅田君達とはじめた追悼スキーを今年も無事計画することができた。回を重ねるたびに参加者が増え、山スキーのルートが先に伸びていることも又嬉しい出来事である。多謝